

# 第16回自然と環境講演会

12年03月03日 京田辺市中央公民館



各南タイムス

第17584号

(第三種郵便物認可)

## 地域発展に重要な役割果たす

京田辺で

### 木津川と歴史テーマに講演会

中央公民館 山城郷土史研究会の中津川代表が講演

京田辺市立中央公民館で3日、第16回自然と環境講演会が開かれ、山城郷土史研究会の代表、中津川敬朗さん(元山城町教育長)が「木津川の歴史と地域」と題して講演した。

木津川河川レンジャはおよそ50人が参加し、呼びかけた講演会で、

講師の中津川さんは、周辺地域に残る古文書から、正徳2年(1712年)や享和2年(1802年)に発生した「大川切れ」の被害状況や、それらの水害によって現在の木津川市加茂町や精華町祝園付近であった集落移転などを解説。また宝永元年(1704年)には奈良・東大寺の大仏殿を建設する際には梁に使う巨木を、宮崎県から

瀬戸内・淀川を経由して木津川で運んだことや、樋門を巡る地域の争いの歴史なども紹介。その上で「山城地域はこの木津川を通じて他地域と結びついてきた。木津川は、この地域の発展に重要な役割を果たしてきた。それらの歴史も、地域の人

【加藤雅紀】

「写真は木津川の歴史と地域のかかわりについて語る中津川さん」

